



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

NO. 2555

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

クラブ会報 なんと

撮影 写真同好会 高野 実会員



「ダム湖の夜明け」

第2614回例会 令和4年5月31日(火)曇18℃

- ◆点 鐘 6:00 北島芳信会長
- ◆ビジター 山本 護君 (小矢部RC)
- ◆会長の時間 北島芳信会長

皆様おはようございます。早朝からのご参加ありがとうございます。

改めて申し上げますが、社会奉仕として2005年に始まったこの植栽活動は、県絶滅危種Ⅱ類に指定されているリンドウとオミナエシを、福野高校農業科や小矢部園芸高校のバイオ技術で増殖した苗によって植え付けを毎年継続し、またその意義を啓蒙する看板を設置するというもので、今年で17年になりました。

2007年に行われましたリンドウプロジェクト懇話会で、私は会報委員長として参加しました。その時のミニ基調講演で福野高校・島田先生の熱心なお話で、この活動の素晴らしさを知り、たいへん感心したことを覚えております。

何故バイオリンドウなのかについては、地域固有の遺伝子を引き継ぐためであり、種子の自然発芽は1000個中数個と少ないが、バイオ技術を用いれば90%以上発芽するからだと言われ、また、この事業の目的は、花が元々の自生地で、自分で子孫を残し生き続けられるようにする事と、その意義を広く啓蒙する事であるとお話して下さいました。さらに桜ヶ池堤防下湿地帯のこの植栽地は、南砺丘陵性山地で約2400㎡、原生林を残す特異な環境であり、リンドウ自生地としては県当局の調査からも漏れていた場所であると解説しておられました。まさにこのプロジェクトの意義にふさわしい活動場所だと思います。

2010年、私が社会奉仕委員長の時、2610地区会議にてリンドウプロジェクトについて発表する機会が与えられ、講評にてカウンセラーの近藤パストガバナーより、たいへんご賞賛いただきましたことがありまして、結構うれしかったです。

植栽品種としてオミナエシが2013年から始まりましたが、今年を境にササユリに移り変わります。近年、ササユリが減少しているとよく言われるそうです。ましてや摘んで持ち帰る気持ちになるほどの群生は見たことがありません。ササユリの減少は、自然が壊れていることの証であるとの意見もあるそうです。

今後共、どうかこの活動を続けて行けますよう、小矢部園芸高校・報道機関をはじめ関係各位にご支援をお願い申し上げます。

オミナエシ80株植栽 桜池で南砺RC 南砺ロータリークラブ(RC)は31日、南砺市桜ヶ池公園で、里山の自然環境保全に向け、オミナエシの苗約80株を植えた。北島芳信会長、久恵龍三社会奉仕委員長ら約30人が作業に参加し、散策路沿いの斜面で汗を流した。植栽は2013年から、小矢部園芸高校の生徒が公園内の種から育てた苗を使って、続けられている。



富山新聞記事(6・2)



自生種ササユリ

本日のプログラム 6月7日(火) 第2615回例会
《例会変更》ゴルフ例会 トナミロイヤルゴルフ倶楽部
点鐘11:45~。競技スタート12:30 担当 安居親睦委員長

◆出席報告 谷村修基委員長

会員数	5月31日出席率	5月17日(修正)
44(免除2)	65.91%(欠15)	70.45%(欠13・内メーク4)

次回の予定 6月14日(火) 第2616回例会
ロータリー友好交流セミナー
担当 宮川功友好交流委員長



5月31日午前6時から、桜ヶ池周辺の社会奉仕活動に24名の会員が参加して行われた。今年、オミナエシの植栽、そして元会員の中田修さんが下草刈の作業を引き受けてくれた。また富山第4グループガバナー補佐の山本護さんが駆けつけて来られ苗の植えつけに頑張ってくれた。そして長年継続しているこの奉仕は、ガバナー賞に値するとも…。今にも降りそうな曇り空の下、黙々と(?)苗を植えつけている。会員の皆さんマスクにお馴染みのロータリージャンパーを着ているので、誰かよく判別できない。作業は2005年からの継続行事ともあって、もう手慣れたもので6時には大凡苗箱が空になっていた。オミナエシの苗80本は小矢部園芸高校の先生や生徒さん達が、丹精こめて育苗されたもので、それを私達は池の堤防下の遊歩道の斜面に愛情を込めて植え込んだ。今年の苗は間違いなく立派に育つと信じている。ただ、掘り起こして持って行く花盗人も無きにしても非ず、とかがあまり増えていないようです。来年はササユリの植栽になるらしい。本日は久恵龍三社会奉仕委員長の日頃の行いが良くて、なんとか曇天に収まったのは幸いでした…。

桜ヶ池は昭和29年に築造された人造湖です。昭和57年、城端町町村合併30周年記念に周囲3kmの沿道と公園に1000本の桜を植樹しました。その中にロータリークラブの桜として55本が仲間入りし、それから40年が過ぎ、今では見事な花を咲かせてくれます。その桜の幹に、それぞれの管理者の名札を付けていたのですが、外れたりしたため、今では数本にのみにしかついてないようです。



「ささゆり」花の色 淡い紅色・白
 開花時期 6月、7月 花言葉 清浄、上品
 花の特徴 ユリの仲間の中では開花時期が早い。茎先に2、3輪の淡い紅色の花をつけ、稀に白花もある。花は大輪で、長さ10cm×15cm位ある漏斗状で、横向きに花をつける。花に独特の香りがある。雄しべは6本で、葯は赤褐色である。雌しべは1本。葉の特徴 葉は披針形で、互生する。葉はやや厚い。実の特徴 花の後にできる実は大きく果(熟すると、種子が散布される果実)である。
 植物のタイプ 多年草
 大きさ・高さ 50～100cm
 分布 日本固有種 本州の中部地方から九州

を取り戻そうと、2014年からオミナエシを植えている。
 小矢部園芸高校が自生種から培養した苗約80株を用意。メンバーがシヨベルで穴を掘って丁寧に植えていた。来年度からササユリも植栽する。
 北日本新聞記事 (6・5)



■オミナエシを植栽
 南砺ロータリークラブ(RC)、北島芳信会長は、南砺市城端地域の桜ヶ池公園にオミナエシを植えた写真。
 オミナエシは県内で絶滅危惧2類になっており、桜ヶ池周辺も激減。昔ながらの景観